

第五つうじん

第107号
22・11・1
発行編集委員会
事務局 荏原第五地域センター
☎(3785)2000

苗字 平安時代と江戸～明治に使用
血筋や同じ祖先の意
名字 中世と現代に使用
名田という土地の相伝と支配権に由来

名字・地名の成立ち

日本は世界で最も名字の多い国で、14万以上あります。中国は500、フィンランドは3万程度です。何気なく使っている氏・姓、そのルーツを探ると興

味と驚きの未知の過去に遭遇するかもしれません。古代は血族集団を表す氏をそのまま苗字として用いて、物部氏・蘇我氏が代表。平安中期になると藤原氏・源氏が隆盛になり、やがて源平藤橘の時代になると、もとの氏はそのまま地名・官職名をつけて苗字として仮に名乗りました。(ex:佐藤氏は佐野の藤原氏一族)

一方富農は開墾した土地(名田)の地名を名字として用い、鎌倉時代になって武士が封地を賜ると氏を名乗らず出身地や居住地の地名を用いて名字としたので、中世の名字は土地の支配と結び付いていました。戦国時代からは居住地を変更しても名字を変えなくなり、そのまま江戸時代に引き継がれたので名字は土地と無関係になり、このころからは苗字という字が使われました。

明治になって庶民も苗字を付けることになり、村の有力者や僧侶に頼んだり、自分の屋号や地名からとったりしました。

現在 文部科学省は、苗字のことを名字と規定しています。

※名字の例

- 居住地から 田中・大森
- 官職・職業 庄司・目・服部
- 地方に下った藤原氏一族
- ・官職から 斎藤(斎官頭)
- 首藤・主藤(主馬頭)
- ・地名から 近藤(近江)
- 伊藤(伊勢)

全国で多い名字の順位

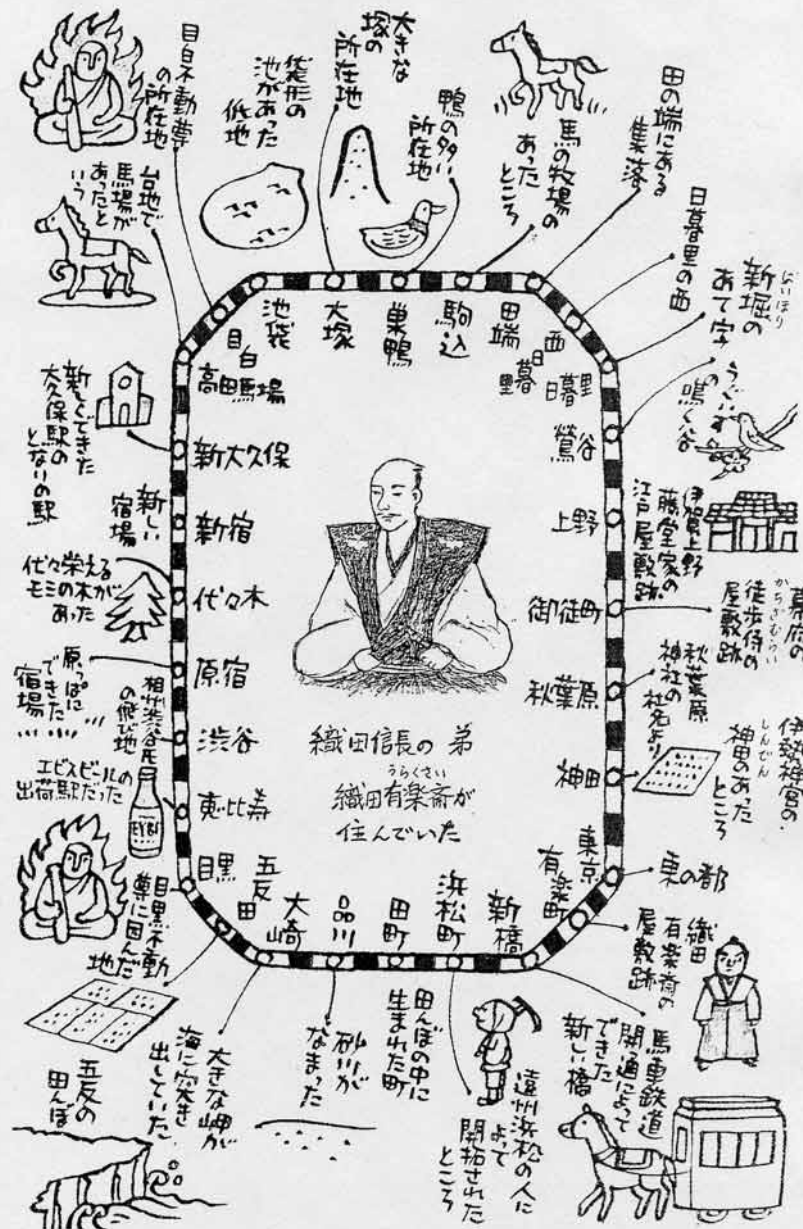
1位	佐藤
2	鈴木
3	高橋
4	伊藤
5	渡辺
6	斎藤
7	田中
8	小林
9	佐々木
10	山本
18	清水
22	小川
23	中島
65	北村
77	上田
83	丸山
96	櫻井
141	古川
210	五十嵐
280	塚本
293	上村
476	片桐
	尾川
	大淵
	吉賀
	川名
	川名
	松縄
	藤藤
	山際
14万	二葉

こんな名字があるのをあなたはご存知ですか。

- 世界 新 せかい あらた
- 富士山 ふじ たかし
- 長命保 ちようめい たもつ
- 北斗七星 きた となせ
- 東西南北 しがし しなた
- 八月一日 朝春 おずみ ともはる
- 水木 金土 みずき きんど
- 数 千万人 かず ちまと
- 十七女 十四男 となめ としお
- 中 学 なか まなぶ
- 原子 力 はらこ つとむ
- 阿井 卯榮雄 あい うえお
- 七五三 しちごさん

がくぶん総合教育センターより抜粋

山手線の駅名の由来



みなさんの新聞です。1部ずつお取り下さい。